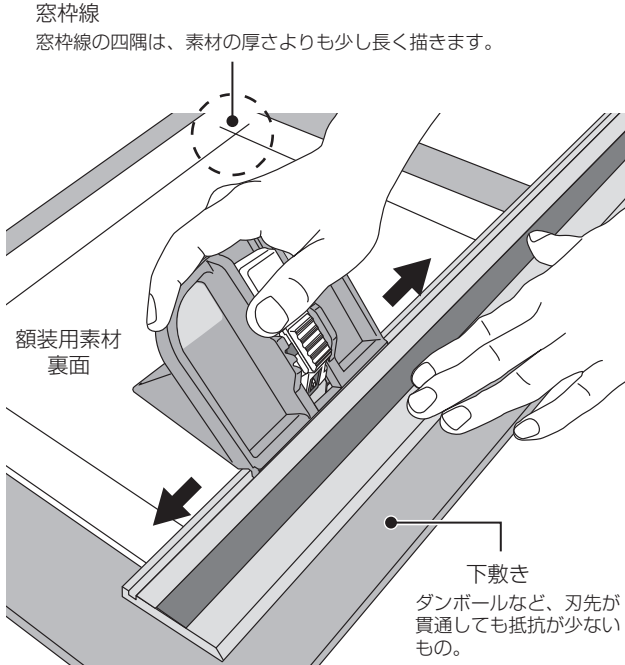


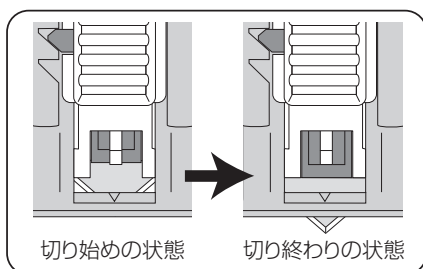
●準備する物

額装用素材（マット紙、スチレンボードなど）
筆記用具・下敷き（ダンボールが最適です）



- ① 額装用素材（以下 素材）の裏面に、切り抜く大きさの窓枠線を描きます。
※窓枠線は必ず素材の裏面に描いて下さい。
※四隅は少しはみ出すように描いて下さい。
はみ出す長さの目安は、素材の厚みより少し長く。
- ② 下敷きに不要なダンボールなどを敷き、素材に描いた窓枠線に定規をあてます。カッター本体は、窓枠線の内側から定規の溝に掛けます。（上図参照）
- ③ 必ず窓枠線の端から切り始めて下さい。本体と定規をしっかりと押さえ、スライダを1段下げます。（"3mm厚まで"の位置）
- ④ 定規に沿って本体を何度か往復させカットしていきます。四隅は①で少し長く描いたところまでカットします。切り込みが不十分な場合、角がきれいに仕上がりにません。
- ⑤ 切る抵抗感がなくなるまで、本体を往復させカットします。

刃の切り込み具合は、スライダ先端の赤い部品の位置でも確認できます。（右図参照）

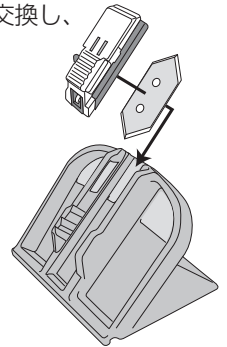
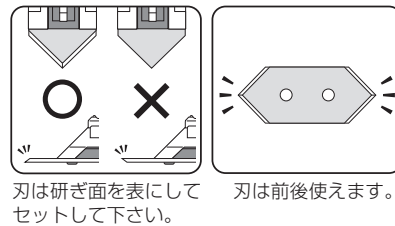


- ⑥ 3mm厚以上の額装用素材をお使いの場合は、①～⑤の手順の後にスライダを更に1段下げて③～⑤の手順を繰り返して下さい。（"3～7mm厚まで"の位置）
- ⑦ 切り終わったら必ずスライダを“収納位置”まで戻してから、本体を定規からはずして下さい。

※専用定規以外の定規(4mm厚以上)も使うことができますが、1辺が40cm以内の切り抜きには、専用定規を使うようにして下さい。
※専用定規以外の定規を使う場合、定規は窓枠線よりも5mm外側に置いてご使用下さい。
※はじめてお使いになる方は、不要な素材の試し切りで練習されることをおすすめ致します。

替刃の交換方法

スライダを本体上部から抜き、刃を交換し、右図の通り正しくセットして下さい。



適合替刃

マットカッター45度替刃



- 替刃の交換の際は十分ご注意ください。
- 刃物ですから取り扱いに注意してください。
- 幼児の手の届かないところに保管して下さい。